

1月臨時会の概要

1月18日から19日まで臨時会を開会し、下記の議案を審議しました。

令和2年度明石市一般会計補正予算(第10号) 補正額 4億8,660万円

下記の新型コロナウイルス感染症対策事業を実施するための補正予算を審議し、原案どおり可決しました。

補正内容

- 高齢者・障害者サポート利用券発行事業費(3億9,200万円)**
市内在住の70歳以上の高齢者および69歳以下の障害者手帳所有者に飲食や日用品の購入、タクシーの乗車ができるサポート利用券を再度交付(1人あたり5千円)
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業費(9,460万円)**
市内医療従事者および65歳以上の高齢者へのワクチン接種経費のほか、ポスター作製等市民への啓発や相談に係る費用を計上

令和2年 明石市議会の会期および議決事項件数

区分	開会日	閉会日	会期日数	市長提出議案								議員・委員会提出議案		
				条例	予算	決算	契約	人事	その他	計	可決数	否決数	提出数	可決数
第1回定例会 3月議会	2/18	3/23	134	24	19	-	-	2	6	51	50	1	1	1
第1回定例会 4月議会	4/17	4/20		1	1	-	-	-	-	2	2	-	1	1
第1回定例会 5月議会	5/7	5/8		2	1	-	-	2	-	5	5	-	-	-
第1回定例会 6月議会	6/8	6/30		2	3	-	3	10	2	20	20	-	2	2
7月臨時会	7/27	7/29	3	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	
第2回定例会 9月議会	9/8	10/15	106	4	3	13	-	3	5	28	28	-	2	2
第2回定例会 12月議会	11/30	12/22		6	5	-	-	4	1	16	16	-	4	4
計			243	39	33	13	3	21	14	123	122	1	10	10

未来明石 出雲 晶二 議員

市民生活を守るための重要なインフラ整備

問 新ごみ処理施設整備事業の進捗状況について聞く。

答 (仮称)新明石クリーンセンターは、平成29年度に現在稼働するごみ処理施設に隣接する旧大久保清掃工場跡地に新たに建設することを決定し、国の補助金申請に必要な循環型社会形成推進地域計

画を策定し了承を得た。30年度には、周辺の自治会に新ごみ処理施設建設に向けた説明を行うとともに、生活環境影響調査を開始し、建設予定地周辺の地歴調査や土壌調査などの基礎調査を行った。令和元年度から、新ごみ処理施設整備基本計画の策定に着手した。可燃ごみは、熱処理方式での処理、破碎選別施設も併設することが望ましいと、技術的専門性の高い内容を協議する技術支援会議から助言を受けている。現在は、規模や事業手法などを検討し、再生可能エネルギーの導入など環境にやさしい施設を目指し、基本計画の策定に向けて取り組んでいる。



現在稼働中の明石クリーンセンター

その他の項目
○新年度予算案における財政状況と、新型コロナウイルスの影響を踏まえた今後の財政見通し

建設には、多額の費用を要するため、現在のごみ処理施設の維持管理費と新たな施設の建設費用を削減するための検討を重ね整備を行っていく。

飲食業
外食控えに加え、多くの店舗がアクリル板を設置し、客席を減らすなどの新型コロナウイルス感染症対策を行っている。客席数が減ることにより必然的に売り上げが2、3割程度減少し、とても厳しい状況である。

金融関係
融資件数は、リーマンショックの時以上である。

製造業
外出自粛により、車や靴など、さまざまな商品の売り上げが減少しており、産業界は大きな影響を受けている。



コロナ禍による影響

食品製造業
倒産の2割が飲食業界。倒産だけでなく、自主廃業や閉店、撤退するお店も増えている。飲食業の関連業種である卸業者や生産者の影響も大きい。

製造業
2020年3月から需要が減少した。自動車部品は5月が一番厳しく、前年から75%減となったが下半期からは少し回復してきている。

意見交換会

～コロナ禍の現状・今後の課題～

明石商工会議所
×
明石市議会

令和3年2月16日、明石市議会として初めてとなるオンライン形式で明石商工会議所と意見交換会を行いました。

意見交換会では、コロナ禍による市内事業者への影響や本市の新型コロナウイルス感染症対策などについて、さまざまな業種の方からの意見がありました。



◆市の新型コロナウイルス感染症対策事業について

- ・生活支援策としての各種サポート利用券の発行により、利用できる店は、とても助かっている。支援終了後の対応も検討してほしい。
- ・業種やお店の規模により、コロナ禍の影響は大きく異なる。サポート利用券の利用状況など、事業の効果を業種別で検証する必要があるのではないか。
- ・出張時など、希望者が簡易にPCR検査を受けられるよう、ドライブスルー方式の活用など、検討してほしい。
- ・ワクチン接種を産業医からも受けることができるように柔軟な対応を検討してほしい。
- ・コロナ禍においても、学習環境を守り子どもたちが情報交換ができるよう、教育現場の通信インフラの整備を進めてほしい。
- ・スマートフォン決済サービスを利用したポイント還元事業を実施してほしい。

◆上記以外の課題について

- ・市内には独自の技術を持つ会社も多いため、商業だけでなく工業についても積極的にPRしてほしい。
- ・交通インフラとして、南北道路の整備を強化してほしい。
- ・工場立地法に基づく緑地面積率の規制等で工場の建て替えができないなどの問題があるため、緑地面積率を緩和してほしい。

◆議会からの意見

- ・コロナ禍の影響は業種によって大きく異なるという意見を受け、さまざまな業種へのサポートや全世代が対象となる施策を検討していきたい。
- ・サポート利用券の使い方やワクチン接種の方法について、いただいた意見を担当部署へ提案していきたい。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、工場立地法の緑地面積率等の緩和について議論をする明石市工場緑地のあり方検討会は中断しているが、今後も丁寧にしっかりと議論を進めていきたい。

◆総括

議長からは、意見交換会での貴重な意見を踏まえ、コロナの収束に向けた取り組みや収束後の地域経済の活性化等について、議会一丸となって進めていきたいとの意向が示され、引き続きご協力をお願いしました。

代表質問